

研究助成 申請書作成にあたっての指針

研究助成の審査においては、以下の項目に基づき、計画の内容が多角的に検討されます。申請にあたっては、各要件を十分に満たした計画書を作成することを推奨いたします。

■ 計画策定における重点確認事項

1



研究の独創性・新規性

既存の知見に留まらない斬新なアイデアや新しい視点が提示されているかを確認してください

2



研究の実現可能性

研究計画が具体的であり期間内に完遂できる実施可能性を有しているかが重視されます

3



学術的・社会的意義

当該研究が学問の発展や社会の課題解決に対してどのような貢献を果たすか記述してください

4



研究の明確性・妥当性

設定した目的、研究方法、およびスケジュールに整合性があり、妥当な設計となっているかを吟味してください

5



研究実績と遂行能力

これまでの研究業績に基づき、提案する研究を確実に遂行できる能力が示されている必要があります

■ 助成内容と注意事項

- ・助成額上限:10万円
- ・用途:研究遂行に必要な経費全般(消耗品費、書籍費、学会参加費など)
- ・予算分配:申請内容及び応募者数に応じて予算が分配されます